



京都市立 久美浜高等学校



3月12日抹茶々碗完成!



焼き上がった抹茶々碗と初めての対面。
どんな焼き上がりか楽しみというよりは、自分の作品が割
れていないか心配そうでした。



釜焼きの様子



釜から出した茶碗は、普段使用し
ている茶碗より角張って、ザラザ
ラしていました。
それをなめらかにするために陶器
の破片や耐水ペーパーを使用し
て、磨きました。力を入れすぎな
いように慎重に磨きました。
磨くと不思議と甘い香りが茶碗か
ら漂いました。





自分が作った茶碗で一服。それぞれ形も色も異なり、世界に一つしかない茶碗です。お茶をいただいたあと、茶碗作りに取り組んだ感想を一言ずつ発表しました。

・自分が思いつきで発言したことが叶うとは思ってなかった。茶碗ができるまですごく時間がかかったけど、貴重な体験ができてよかった。

・茶碗を作るのは簡単ですぐできると思っていたけれど、粘土を重ねて形にする作業がとても難しかった。土から掘り出して、粘土を色ごとに仕分けして、形を作って、釉薬も灰から作って・・・浅田先生にたくさん時間をさいてもらいようやく完成させることができた。難しかったけどよい経験をさせてもらった。

・粘土を掘りに行って色ごとに仕分けることも、石を取り除くことも根気がいる作業だったけど、初めての体験で楽しかった。無事に焼き上がってこうしてお茶がいただけることがうれしい。できあがった茶碗は大事にしたい。

・茶碗作りを通して物を大切にする気持ちが育った。今まで適当に扱っていた物も誰かが手間暇をかけて作った物だと思えば大切にしなければならない。そういう気持ちが芽生えてよかった。このお茶碗をいろんな人に見てもらいたい。

